

背骨が曲がらない骨格モデルでは、基本的に使用時に首が傾くことはありませんので、頭蓋を固定する方法が簡便です。釘に似た形状の大きなピンを頭蓋上部の穴に通し、頸椎から出ている心棒の上部の穴に差し込むだけです。

A15 (1020178)



A10 (1020171)

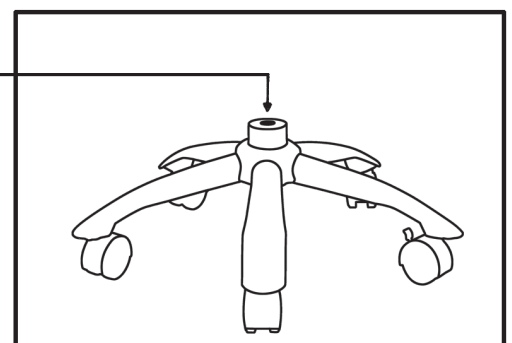
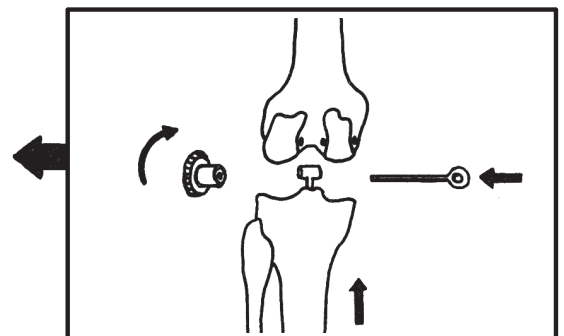
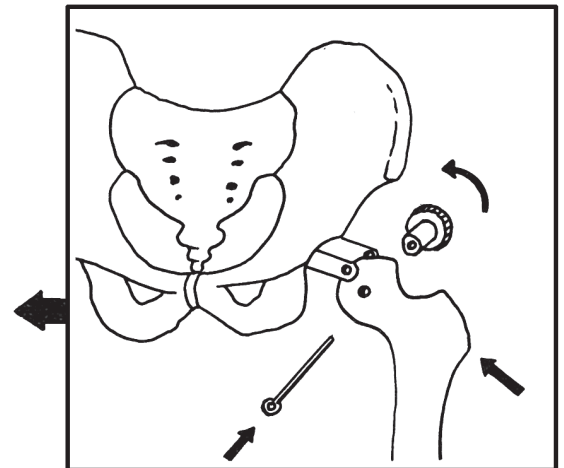
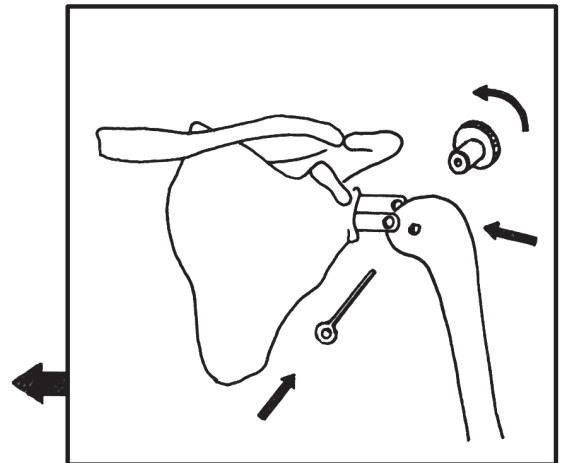
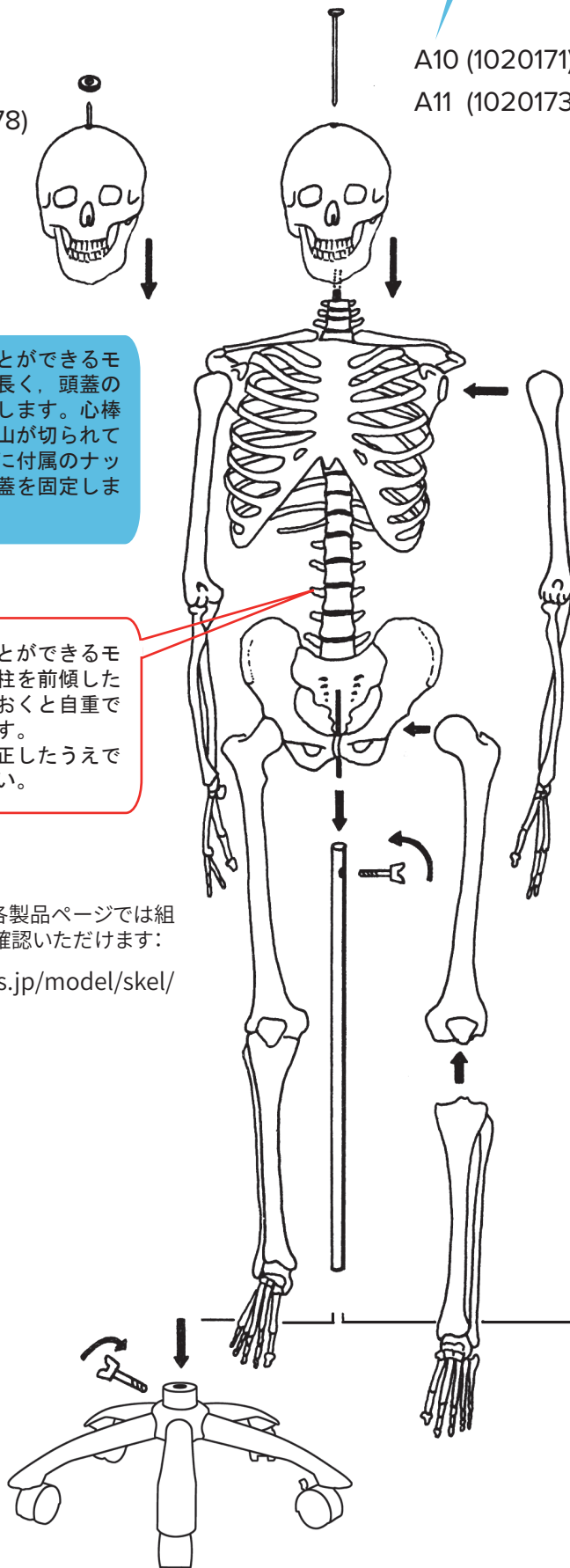
A11 (1020173)

背骨を曲げることができるモデルでは心棒が長く、頭蓋の外側まで突き出します。心棒の先端部はネジ山が切られているので、そこに付属のナットを取付けて、頭蓋を固定します。

背骨を曲げることができるモデルの場合、脊柱を前傾したままで立たせておくと自重で傾きが悪化します。使用後は姿勢を正したうえで保管してください。

弊社Webサイトの各製品ページでは組立方法を動画でご確認いただけます：

<https://www.3bs.jp/model/skel/>



靭帯なし骨格モデル、直立型スタンド仕様の場合 A10, A11, A15